



# 相ノ木っ子だより

令和2年度  
学校だより  
10月号  
上市町立相ノ木小学校

## 幸福感を味わえる時間



新型コロナウイルス感染症拡大の第2波がやや落ち着きつつあり、富山県においても数日おきに数名感染者が出る程度に収まってきています。ウイズ・コロナの生活にも慣れてきた感もあり、他の都道府県の様子は気になりますが、少しほっとしているところです。そのような状況もあり、学校での活動の幅は広がってきていますし、これまで中止していた学校行事等も工夫しながら実施するようになってきました。しかし、どんな状況であろうとも、これまで通りしっかりと予防対策をとり、気を緩めることなく生活していかなければなりません。取り巻く状況を見極め、子供たちが活動する姿を想定しながら、できる限り子供たちの大きな成長を促す学びとなるよう、教育課程を計画し、進めていきたいと考えています。

今月初め、6年生が国立立山青少年自然の家に行き、大辻山の沢登りをしました。運動会は行いましたが、宿泊学習や立山登山等が中止となり、寂しい思いをした6年生。小学校最後の年の思い出の一つでも多くつくり、少しは充実感を味わってほしいと急遽発案した校外学習です。子供たちは、頂上目指し、互いの友情を確かめ合うかのように声を掛け合いながら沢登りをしていました。本当に計画してよかったです。

さて、前にも書いたことがあるのですが、国内旅行がわたしの趣味の一つです。自分で車を運転し、観光名所を訪ね、温泉旅館に泊まるのがとても好きです。これまでも、沖縄県以外の46都道府県に車で行ってきました。しかし、今年のゴールデンウィーク、夏休みはもちろどこにも出かけることができませんでした。仕方ないことだと頭では分かっているのですが、何となくもやもやとした気分がまだ残っています。したいことができないことへの不満やストレスといったものがどうしても溜まってしまいます。このような思いは、子供たちや保護者の方にもあるのではないのでしょうか。

また、長期休業中や連休中のわたしの過ごし方を振り返ってみると、毎日散歩と買い出しを繰り返すぐらいで、時間はあるのだけれど、何をしようか悩んでいる自分がいました。自分のしたいことがなかなか思いつかず、無駄にぼーっとしていて、一日の時間が長く感じられました。これまでは、やりたいことはたくさんあるけど時間がなく、順番を考えて行動していたのに。制限された生活の中では、自分の熱中できることが思っていた以上に少ないことを痛感しています。

ウイズ・コロナの生活が今後も続くことを考えると、自分の熱中できることをもっと増やし、メリハリをつけた生活を送るようにしなければならぬと思っています。どんな小さなことであっても、自分が充実感や幸福感を味わえる過ごし方を見つけることが大切なんですよ。これは、子供たちにも当てはまるのかもしれない。

最後に、作家の辻邦生さんの言葉です。

**何か面白いことをしていると、人は時間を忘れる。時間に気づかない。**

**しかし、無駄なことをしていると、時間はのろのろ過ぎる。**

**そして無駄なことをしたとき、時間ののろのろした肉体を感じるのだ。**



どんな状況でも、心の張りを失わない過ごし方を見つけ、時間を忘れるぐらい熱中し、このコロナ禍を生き抜いていく。とても大事な観点ではないのでしょうか。



# 相ノ木っ子の心の育ち



校長に着任してから2年半。子供たちの心を育てることを一番に考え、一人一人の気持ちや思いを大切にしてきました。自分の内なるものが鍛えられ、充実したものにできれば、子供の主体性が生まれ、自ずと自立への道を進んでいくと考えたからです。また、一人一人の心が育つことで、子供たちの言動は自分や相手を意識したものになり、学校の雰囲気そのものも変わってくるであろうと思いました。

心が育つためには、自分の心を見つめ、どう行動すべきかを自分自身で考えていかなければなりません。また、本音で話し合ったり、正直かつ素直な思いで行動したりすることも大切です。そのような学びを子供たちが積み重ねていくには、先生方や保護者の皆さんが根気強く子供たちと接し、自分で考えさせ、自分の言葉で語らせることが重要になってきます。「自分を大切にする」「自分の心を見がく」「自分を表現する」を始業式や終業式での挨拶等や相ノ木っ子だよりを通じてこれまで何度も伝えてきましたが、先生方や保護者の皆さんが子供たち主体の学びや生活を意識していること、子供たちの活動や言動に心の育ちが表れてきていることを今年特に感じています。

実際、先日の運動会では、相ノ木っ子の心の育ち、学校全体の温かな雰囲気というものが随所に表れていたように思います。半日の運動会でしたが、例年以上に充実した気持ち、温かな心持ちになりました。それは、子供たちの取り組んでいる姿や互いに関わり合う言動、見守っている先生方や保護者の皆さんの様子や雰囲気から感じるものでした。アクシデントがあっても穏やかに友達を待つ姿、団の友達のがんばりに自然と送る声援や拍手、アドリブ満載で場を盛り上げる先生方のアナウンス等々。温かみ、穏やかさ、素直さ、一生懸命さ、ゆとりといった心の在り様、包まれた雰囲気といったものを運動会から感じたのは確かです。

勝者は知らずに憎しみの種をまき 敗者を苦しませる  
勝ち負けにこだわる時 喜びは苦しみへと病んでいく  
すこやかに満ち足りて とらわれぬところが宝

これは、谷川俊太郎さんの詩集「すこやかに おだやかに しなやかに」の一編です。自分の中には嫌な心もあるでしょうが、人間の心はなかなかいずれにしろ、子供たちの「心育てる」ことへの確かな手ごたえを感じ、今後ますます子供たちの内面を磨くための支援に努め、「温かみのある学校づくり」を目指していきたいと強く思っています。保護者の皆さんの温かな協力、支援、見守り等をより一層いただきたいと願います。

相ノ木っ子のみんな、やはり心って大事だね。素直な心、とらわれない心をもち続けたいね。



## 行事予定(10月中旬～11月中旬)



10月15日(木) 4年校外学習(四季防災館)  
16日(金) 夢の教室(5年)  
23日(金) 学習参観・学級懇談会  
下校 15:30  
26日(月) 科学博物館見学(6年)  
27日(火) 就学時健診  
下校 1・2・3・4・6年 12:20 5年 15:00



11月 2日(月) 教育相談週間(～9日)  
3日(火) 文化の日  
5日(木) 健康・運動能力向上支援事業(1・2年)  
11日(水) 小学校教育課程研究集会  
下校 1・2・4・6年 13:20  
3年 14:35 5年 15:25